

× 不適当な写真例

目

カラーコンタクトや瞳の縁を広げるコンタクトを装着したものや、フラッシュ等の影響により瞳が赤く写ったものは不適当です。
上記コンタクトを着用の場合、出入国の際、トラブルになる可能性があります。



カラーコンタクトを装着したもの



フラッシュ等により瞳が赤く写ったもの



意図的にフラッシュやライトの形が写り込んだもの



眼鏡

より確実な本人確認のため、**眼鏡を外した顔写真を推奨します**。眼鏡を着用するとき、色付きのレンズや反射、影があるものは不適当です。また、目を妨げる縁、フレームがないものに限ります。医療上必要とされない限り、サングラスや処方のない色付きの眼鏡は不適当です。



色付きの眼鏡やサングラス



眼鏡に照明が反射したもの



眼鏡のフレームが目にかかっているもの

影

顔や背景に影が写ったものは不適当です。



顔の影があるもの



背景の影があるもの



つけまつげ、まつげエクステの影があるもの

撮影品質

撮影時にピントが合っていないかったり、手ぶれにより不鮮明なものや、顔にてかりやムラがあるものは不適当です。



ピンぼけや手ぶれにより不鮮明なもの



てかりやムラがあるもの

画像加工・画像処理

目を大きく見せたり、美白処理、顔パーツやほくろ、しわ等を修正する等して、本人のイメージを変えたものは不適当です。出入国の際、トラブルになる可能性があります。また、**左右反転※した写真は不適当**です。



目を大きくしたり、顔のパーツが変形したもの



変形やマスキング等の画像処理をほどこしたもの

画像・印刷品質

デジタル画像の過剰な圧縮等が原因となってノイズ（画像の乱れ）が発生しているものや、ジャギー（階段状のギザギザ模様）、印刷時のドット（網状の点）やインクののにじみがあるものは不適当です。写真専用の用紙を使用し、鮮明な画質で印刷してください。



ノイズ（画像の乱れ）があるもの



ジャギー（階段状のギザギザ模様）があるもの



ドット（網状の点）やインクののにじみがあるもの

※使用するカメラアプリによっては左右反転する場合がありますが、不適当です。

髪のボリュームが大きい場合

目から顎までの幅と同程度の幅を目から上側にとり、その部分を頭頂とみなして（右図参照）、**サイズを調整してください**。



× 不適当な写真例



乳幼児の撮影について

補助者の身体の一部が写り込んでいる場合や、目を閉じている場合は不適当です。顔の向きや動きによる手ぶれにも注意してください。

座れない場合は、**白色**のシーツ等に寝かせて真上から撮影した写真でも問題ありません。

○ 適当な写真例



× 不適当な写真例

